



# はは歯クラブだより



NO.170

長崎市鳴見台小学校

学校歯科医 行成 哲弘



医療法人

ゆきなり小児・矯正歯科

こんにちは！

11月16日に3年生の1クラスと4、5、6年生を担当し秋の歯科健診を実施しました。お口の中の状況は両極端です。歯垢もなく歯ぐきも引き締まったお子さんも多く見受けられましたが、何時歯をみがいたかわからないような歯肉炎のお子さんも多々見受けられました。歯みがきの習慣がついているお子さんは少しの汚れでも気持ち悪く感じ、すぐに歯みがきをしようとします。歯みがきの習慣がついていないお子さんは、どんなに汚れていようと何とも思いません。汚れ（歯垢）が付いたままでは歯ぐきも腫れてきてちょっとした刺激（歯みがき）で出血します。血が出るからしっかりと歯みがきをしないと、ますます歯ぐきが腫れてきます。そうすると歯周病（歯槽膿漏）の予備軍、歯肉炎となります。お子さんの健診結果を見てください、歯肉炎に印が付いていませんか。



口腔内状況が悪いお子さんが多かったため養護教諭の柳川先生にお聞きしたところ、現在コロナ下ということで1、2年生はお昼のブラッシングをしておらず、3～6年生は各個人にまかせている状況だそうです。

鳴見台小学校が開校以来、歯科校医をしていますが、当初より実施していました音楽をかけてのお昼のブラッシングタイムが現在、実施されていないそうです。教頭先生に全学年のお昼のブラッシングタイムの再開をお願いしました。現在、マスクをすることが日常ですが、お子さんの口呼吸が多くなっています。歯ぐきも腫れやすくなりますし、歯並びにも影響が出てきます。



新型コロナウイルス感染症に負けない歯と口の健康づくりのためにも、こんな時期だからこそ歯みがきが大切です。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

「ゆきなり歯科」で検索すると簡単です。

<日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘>